



八軒つうしん



平成十九年度同窓会総会

新会長へ

バトンタッチ

平成十九年八月十九日、八軒中同窓会総会が、学区内南材コミュニティセンター・和室において開催されました。

来賓として、母校である八軒中学校から、公務で欠席の永野幸一校長先生に代わって八柳善隆教頭先生と同窓会担当の高山満先生が出席されたほか、第十一代校長の平定明先生、菅原昭二先生、佐藤多賀子先生においていただきました。

遠藤栄会長、八柳教頭先生のご挨拶、恩師のご紹介の後、議事に入り、笠松儀一郎事務局長から経過報告、松谷匡子会計担当次長から会計報告、守屋良子監査から監査報告がありました。いくつか質問が出されましたが、原案どおり拍手で承認されました。続いて、笠松事務局長から活動計画(案)、松谷会計担当

次長から予算(案)の提案があり、こちらもいくつか意見が出されましたが、原案どおり承認されました。



最後に役員改選について笠松事務局長から提案があり、これも原案どおり承認されました。新役員は次のとおりです。

参与 永野 幸一

会長 菅井 茂

副会長 佐藤 徳子

(新制第十三回生)

(新制第十三回生)

(新制第十三回生)

本郷 誠

(新制第十四回生)

監査 佐々木 博司

(新制第八回生)

八谷 和子

(新制第十二回生)

(敬称略)

また、菅原事務局長を始めとした新しい事務局のメンバーが菅井新会長から指名されました。

盛り上がった懇親会

後半は、会場を二階大ホールに移しての懇親会となりました。オープニングは、第十一回生の桂友楽こと大友健宏さんの落語で、「お笑いを一席」。大いに笑ったところで乾杯・懇談となりました。

その後第二十八回生の針生琳太郎こと針生登志雄さんの英語狂言と仕舞、恒例(?)の平先生のハーモニカ、第十二回生の藤間和寿葉こと八谷和子さんの日舞、更には各期の紹介と大いに盛り上がりま

した。

最後に平先生のハーモニカの伴奏で校歌を斉唱した後、期せずして「フレ、フレ、八軒」の「エール」でお開きとなりました。

今回の総会の企画・運営に当たっては、初めて「当学年制」を取り入れました。担当となった第十二、十六回生の皆さん、お疲れ様でした。

次回(平成二三年度)は、第十六、二十一回生が当番となりますので、よろしくお願ひします。



新旧会長のついで

旧制出身として八年間

相談役(第四代会長)

遠藤 栄



平成十一年に同窓会活動の再出発に当たり、旧制出身者

として初めて会長に選出されました。後輩各位の暖かいお気持ちに大感激し、出来るだけ母校のお役に立ちたいと非力に鞭打って若い人々と一緒に活動したつもりです。東北一の武道館の建物もすごいですが、私が入学したときの廊下の幅が小学校のときよりも三分の一位広く、少しばかり大人の仲間入りをしたような興奮が忘れられません。戦争中とはいえ英語も勉強しました。毎月五十銭位(今だと五百円位か)の月謝を仙台市に納めたからでしょうか。戦後は「平和憲法」のもとで戦争には遭っていません。これ

からも憲法九条を世界に示し、まだ戦禍のなかにある途上国の人々や地球環境を守ってゆくために我が八軒中同窓会は努力しようではありませんか。在任中の皆様のご支援に感謝を申し上げます。ご多幸を祈念いたします。

(旧制第八回生)

同窓会の更なる発展を

目指して

第五代会長

菅井 茂



この度、遠藤栄第四代会長の後任として会長を仰せつかった菅井です。私は前会長の方針を受け継ぎ、そ

れをさらに発展させ同窓会の目的を達成したいと思っています。同窓会の目的の一つは「会員同士の親睦を図る」ことで、そのためには、より小さいグループの同期会やクラス会が開催で

きるよう、いろいろと支援していきたいと思います。二つ目は「母校の発展に寄与する」こと

で、八軒中学校のいろいろな行事に出来るだけ参加し、中学校と一体となつて後輩諸君を激励し支援していきたいと考えています。また、母校の活性化のために同窓会で何が出来るかを、会員の皆様のお考えをお聞きし、できるものから実践していきたいと考えています。

同窓会は、二万五千有余名の会員のための会です。どうか会員皆様のお力を私たち執行部にお貸しください。そして、皆さんで自分たちの会にしてください。(第十三回生)

執行部紹介

副会長 佐藤 徳子

第十三回生。南材小、八軒中学区に生を受けて六十有余年居住。夫も同窓生。

力にして発展する八軒中に寄与したい。

副会長 本郷 誠

第十四回生。昭和三十九年、平成十八年、仙台市役所で学校や市営住宅等の建設、都市再開発事業、泉・宮城野区で建築確認行政、鉄砲町・二十人町の区画整理事業を担当。

時代を超えて八軒学区のまちが持続できるよう、同窓生諸氏の力(情報ネットワーク・人材・各分野で培われた人脈・智恵・まちづくりのノウハウ等々)を結集し、学区民と協力、連携しながら一緒にまちづくりを行いましよう。

事務局長 菅原 敏之

第十四回生。八軒中時代にはバレー部を創設。定年までの四十年弱アサヒビールに勤務。

事務局長として、中学校、同窓生のパイプ役となり、会員の親睦と母校の発展に寄与したい。

母校は今

伝統を受け継ぐもの

として

仙台市立八軒中学校

校長 永野 幸一



昨年四月、八軒中学校に赴任してから早いもので一年が経とうとしています。

同窓生の皆様には、日頃より学校および在校生へのご理解・ご支援をいただき、厚く御礼申し上げます。また、昨年の文化発表会では、同窓会の演目として、本校の卒業生で世界を舞台に活躍されている牛坂洋美さんの演奏を生徒と共に聞く機会を設けて頂き、八軒中学校の同窓会が、現在の生徒たちとのつながりを大切にしていること、そして、卒業生の皆さんが八軒中学校に愛着を持ち続けておられ

ることを強く感じました。

こうした卒業生の皆さんの思いを受け継ぐ在校生諸君には、自分が過ごしている今この時を大切にするとともに、後になつて振り返ったときに、自分たちの時代は、こんなことが素晴らしかったと胸を張って言えるよう、代々築いていく学校の歴史に実感のある一ページを刻んでほしいと願っています。

在校生の活躍ぶり

〈運動部〉

第五十六回仙台市中学校総合体育大会

陸上(県大会出場)

男子 共通四百M、共通三

千M、共通砲丸投げ、

一年百M、共通千五百M

女子 三年百M、共通千五

百M

水泳(県大会出場)

男子 四百Mメドレーリ

レー、四百Mリレー、二

百M背泳ぎ、百M背泳

ぎ、二百M平泳ぎ、百M

平泳ぎ、五十M自由形

kg級

女子 四百Mメドレーリ

レー、四百Mリレー、

バスケット(県大会出場)

女子

サッカー(県大会出場)

野球(県大会出場)

新体操(県大会出場)

女子団体

バドミントン(県大会出場)

男子団体

柔道(県大会出場)

男子 六十六kg級、

女子 団体、五十二kg級、

四十四kg級

剣道(県大会出場)

女子 団体、個人

第五十六回宮城県中学校総合体育大会

陸上(東北大会出場)

男子 四百M

水泳(東北大会出場)

男子 二百M背泳ぎ、百M

背泳ぎ

女子 二百M平泳ぎ、百M

平泳ぎ

柔道(東北大会出場)

男子 六十六kg級

女子 五十二kg級、四十四

kg級

kg級

新人戦でも県大会出場等の実績あり

〈文化部〉

吹奏楽

全日本吹奏楽コンクール

県大会、東北大会出場

合唱

宮城県合唱コンクール

金賞、宮城県知事賞

第七十四回NHK全国学校

音楽コンクール

宮城県コンクール 銀賞

〈その他〉

・仙台市中学校弁論決勝大会

優秀賞

・第七十五回全国書画展覧会

書の部 特選、金賞、銀賞、

銅賞、入選

・第五十四回仙台市英作文コ

ンクール

仙台市教育長賞、最優秀

賞、優秀賞

・第五十四回宮城県英作文コ

ンクール

優秀賞 奨励賞

同期会は楽し

第四回生(昭和二十六年卒)

昨年十月二十四日、二十五日、秋保のばんじ山荘で秋の会(同期会)を開催しました。十三名の参加者で、還暦の時の同期会のテープをダビングしたDVDを懐かしく見ました。

還暦から十三年、多いときには六十三人いた参加者も、現在は十、二十人ぐらいになりました。六名は既に亡く、患っている人もいます。元気なところが懐かしいです。皆さんも元気でいてください。(鈴木 正利)

第六回生(昭和二十八年卒)

昨年十一月十一、十二日、秋保温泉・ホテルニュー水戸屋にて、五年ぶりとなる第四回同期会を開催し、五十六名が参加しました。菅原昭二先生、旧姓龍田ヒロ先生、梅田照子先生、若松鈴子先生も出席され、和やかに歓談、二次会は夜遅くまで盛り上がりしました。

八軒時代の思い出を強い絆として、持病があったり、少々腰

が痛くても再会を約束し、お開きとなりました。

(笠松 儀一郎)

第十一回生(昭和三十三年卒)

第三回同期会は、平成十七年十月二十二日、仙台ホテルにて開催しました。四名の恩師を囲み、北海道、九州等全国から六十九名の同期生が出席。卒業以来初めてお会いする方も多く、盛会のうちに次回を期して散会しました。第四回同期会は、平成二十年十月五日、六日(一泊二日、日帰りも可)、秋保温泉・秋保グランドホテルで開催する予定です。(斎藤 紀江子)

第十二回生(昭和三十四年卒)

昨年十一月十七日、江陽グランドホテルで開催、恩師の小川賢一先生、沼田勲先生を迎え、同期生八十七名が参加しました。前回から二十年、住所のわからなくなっている同期生も多い中、各クラス幹事の努力により、予想以上の盛会となりました。

二次会は一カ所には入りきれないため国分町の三店を設定、

二次会パスポートなるものを発行して出入りを自由とし、遅くまで旧交を温めました。

(八谷 和子)

第十四回生(昭和三十六年卒)

昨年八月に行われた八軒中同窓会総会の当番幹事のため、何度も集まる機会がありました。昨年



二月十八日、東京駅内「グットタイムスチャイナ」にて関東・関西支部同期会を開催しました。仙台からの二名を含めて二十一名が参加しました。十一月十一、十二日には、仙台からはサロン付中型バス、関東からはマイク口バスで上塩原温泉「まじま荘」合流、日光解散という旅行もしました。参加者は仙台組が二十名、関東組が七名の合計二十九名でした。(前野 もりえ)

第十八回生(昭和四十年卒)

五年ぶりの第三回同期会は、今年二月十日、ホテルメトロポリタン仙台にて、小川先生、宍戸先生、伊達先生、高橋ふさ子先生、影山先生、同期生九十三名の参加で開催しました。四十年ぶりの再会もあり、懐かしい話で盛り上がりしました。最後の校歌の後、元応援団員から期せずしてあがった「エール」に全員すぐに反応し、まだまだ中学生に負けない団結した応援ができると確信しました。

十年前の八軒中創立五十周年記念行事が私たちの絆を引き戻してくれました。(守屋 良子)

(敬称略)

八軒つうしん第三号

発行日 平成二十(二〇〇八)年三月三日発行

発行者 八軒中同窓会事務局
〒九八四 〇八二七

仙台市若林区南小泉八軒
小路九 一 仙台市立八軒中学校気付